



理念

- 1、乳幼児期の子どもの最善の利益を守る保育園
- 2、親・地域の多様な子育ての要求を受け止め、
助ける保育園
- 3、すべての子どもたちが健やかに育ち、すべての
ものの生命を大切にし、平和な社会をめざす保育園

めざす子ども像

- 1、心身ともに健康な子ども
- 2、自分の要求を持ち、豊かに表現し
実現しようとする子ども
- 3、自分を大切にし、仲間を大切にする子ども

保育目標

- 1、子どもの人格を尊重し、子どもの一人ひとりの発達を援助する
- 2、保護者と子育てを共同する
- 3、保育園の社会的役割を果たす



言ってみようわらべうた 1 著

ひとつ ひばしで やいたもち
ふたつ ふくふく ふくれもち
みつつ みごとな かざりもち
よつつ よこれた あんこもち
いつつ いんきよの かぶれもち
むつつ むこさま みやげもち
ななつ ななくさ そうにもち
やつつ やろこの てっぽもち
ここのつ こぞうの まるめもち
とうで とつつあん たっぽもち

新年あけましておめでとうございます。

今年も保護者、OBの方からたくさんの方賀状を頂きました。ありがとうございます。

子どもたちに、休み中のことを聞きました。

「御殿場で初もうでした」「埼玉行って映画のアナ雪2をみた」「茨城の公園で遊んだ」「アイススケートして2回泊まって家族で食事した。よる雪が降った」「神社へ行ってお祭り行って着物着た」「お金もらった」「おじいちゃんからお年玉をもらった。おもちもお雑煮も食べた」「のり巻いてお餅食べた。凧揚げした」「栃木に行った」「ばーばの家に3回行ってアンパンマンレジで遊んだ」「おじいちゃんおばあちゃんと凧揚げ、大きい空にいっぱいとんだ」等とそれぞれが話してくれました。

保護者や親せきの方と過ごした体験は、保育園生活の遊びの中で再現され、遊びの広がりを見せてくれることでしょう。楽しみにしています。

今年度も職員一同保護者の方とっしょに、子供達の育ちに力を合わせていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

園長 岡本 友子

1月の予定

月	火	水	木	金	土	日
		1 保育園休園日	2	3	4	5
6	7	8	9 健康診断	10	11	12
13	14	15	16 身体測定	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28 わらべうた※	29	30 健康診断※	31 幼児誕生会		

※28日(火) 加藤先生のわらべうた

※30日(木) 年間の予定表では23日でしたが先生の都合で30日に変更になりました。

お知らせ

- 1月31日(金)～2月14日(金) 白梅学園大学の実習生が保育に入ります。
- 保育園の継続書類の締め切り日が25日になっています。

書類がそろいましたら事務所に提出してください。

ある日のエピソードより・・・

最近のはと組では誰かと一緒に遊びたい、というきもちの表われから「○○ちゃんこっちおいで～」 「いっしょに○○しよう！」 「これどうぞ」 「(ここはいても) いい？」 等とお互いに声をかけあいながら遊びを展開している姿が増えてきました。

ある日、A君がパズルをしているとB君が「なにしているの？」とそばに来ました。A君はピースを回転させたり取り替えたりしてパズルに苦戦していました。パズルの得意なB君が優しく「これはここだよ」と助け船を出しました。A君はB君の手元をよく見てピースをはめました。最終的にパズルを完成させて「できた！」と嬉しそうな二人でした。自分の使っているおもちゃを他の子が触ったり、近くに来るとおもちゃを守るために「だめ！」と言ってしまう事もありますが、互いに存在を理解し認め、同じ目的に向かって協力している姿を見る事ができました。

どのようなコミュニケーションをとるといいのか、何度も失敗をし経験したことから自分で考えて行動する力がついてきたように感じます。0, 1才の保育者との1対1の遊びの中で自己の欲求が満たされて、他者と関わる楽しさを学び、そしてそれが今となって子ども同士の関りの中で生かされてきているように思います。子どもが安心して満足できるまで遊び、他者と楽しさを分かち合いながら楽しめる環境の大切さを改めて考える機会となりました。子どもの行動からこの関わりはこういう意味があったのかと気づかされることが多く、勉強になります。この気持ちを忘れずにこれからも子どもと関わっていきたいと思います。

1才児保育士

